

1. 教員組織

① 教員組織・機構

センターの研究部は、1990年に全国共同利用施設として改組された際、地域文化部門、社会体制部門、生産環境部門、国際関係部門の4部門から構成された。1993年に民族環境部門の設置が認められ、5部門の体制となった。2002年4月にこのようなディシプリン別の部門編成から地域別の5部門編成への抜本的な改組を行った。

部門別の現員配置は、下表のとおりである。数値の変動は、全学運用定員による雇用（2003年5月1日、2004年8月1日、2005年5月1日）、昇任（2003年10月1日、2005年8月1日）、退職（2004年3月31日）、死去（2004年7月13日）などによるものである。

定員は、部門改組時点（2002年4月1日）において、教授11、助教授1、助手2の計14であったが、全学的な定員削減により、法人化時点（2004年4月1日）において、教授11、助教授1、助手1の計13となった。

	2002	2003		2004		2005	
	4月1日	5月1日	10月1日	4月1日	8月1日	5月1日	8月1日
研究部							
ロシア部門	4	4	4	4	4	4	4
教授	4	4	4	4	4	4	4
シベリア・極東部門	4	5	5	4	3	3	3
教授	3	4	5	4	3	3	3
助教授	1	1					
中央ユーラシア部門	1	1	1	1	1	1	1
助教授	1	1	1	1	1	1	1
東欧部門	2	2	2	2	2	2	2
教授	2	2	2	2	2	2	2
地域比較部門					1	2	2
講師					1	1	1
助手						1	1
情報資料部	3	3	3	3	3	3	3
助教授							1
講師	1	1	1	1	1	1	
助手	2	2	2	2	2	2	2
合計	14	15	15	14	14	15	15
教授	9	11	11	10	9	9	9
助教授	2	1	1	1	1	1	2
講師	1	1	1	1	2	2	1
助手	2	2	2	2	2	3	3

1. 教員組織

② スタッフ

2006年2月1日現在のスタッフは、下記のとおりである。研究部には、専任研究員のほか、日本人客員研究員が6名、外国人客員研究員が3名配置されている。地域比較部門の講師と助手は、全学運用定員による雇用で、任期が付されている。

【研究部】

ロシア部門	教授	望月 哲男
	教授	山村 理人
	教授	田畑伸一郎
	教授	松里 公孝
	客員教授	斎藤 元秀
シベリア・極東部門	教授	原 暉之
	教授	荒井 信雄
	教授	岩下 明裕
中央ユーラシア部門	助教授	宇山 智彦
	客員教授	志摩 園子
	客員教授	仙石 学
	客員教授	佐々木史郎
	客員教授	高橋 清治
	客員助教授	帯谷 知可
東欧部門	教授	林 忠行
	教授	家田 修
地域比較部門	講師	前田 弘毅
	助手	藤森 信吉
	客員教授	グチノヴァ、エルザー・バイル・マツァコヴナ
	客員助教授	ドルビロフ、ミハイル・ドミトリエヴィチ
	客員助教授	レノー、マシュー・エドワード

【情報資料部】

助教授	兔内勇津流
助手	大須賀みか
助手	山下 祥子

【事務部】

事務長	山田 杉一
係長	木村 侃司
事務職員	千日坂和彦
事務補佐員	池田 和絵
事務補佐員	佐々木秀之
研究支援推進員	加藤 寿子
技術補助員	伊藤 薫

③ 教員のプロフィール

研究部教員 12 名の出身大学院は、東京大学が 7 名、一橋大学が 2 名、その他 3 名である。また、最高学位は博士号が 4 名、修士号が 7 名、学士号が 1 名である。

【研究部】

ロシア部門

望月 哲男 (もちづき てつお)

専門： 近代ロシア文学

学歴： 1951 年生まれ、1975 年東京大学文学部卒、1978 年東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了、1982 年同博士課程単位取得退学

職歴： 1982 年東京大学文学部助手、1986 年北海道大学スラブ研究センター助教授、1994 年同教授

山村 理人 (やまむら りひと)

専門： 移行経済の比較制度論的分析、ロシア・東欧の農業問題

学歴： 1954 年生まれ、1980 年東京大学農学部農業経済学科卒、1987 年東京大学大学院農学研究科博士課程修了、1988 年東京大学農学博士号取得

職歴： 1987 年茨城大学農学部助教授、1992 年北海道大学スラブ研究センター助教授、1996 年同教授

田畑伸一郎 (たばた しんいちろう)

専門： ロシア経済：システムと経済成長の分析

学歴： 1957 年生まれ、1981 年東京大学教養学部教養学科卒、1983 年一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了、1986 年一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学

職歴： 1986 年北海道大学スラブ研究センター助教授、1997 年同教授

松里 公孝 (まつざと きみたか)

専門： ロシア、ウクライナの歴史と政治

学歴： 1960 年生まれ、1985 年東京大学法学部卒、1991 年東京大学大学院法学政治学研究科博士課程退学、1996 年法学博士

職歴： 1991 年北海道大学スラブ研究センター助教授、2000 年同教授

シベリア・極東部門

原 暉之 (はら てるゆき)

専門： ロシア史、ロシア極東近現代史

学歴： 1942 年生まれ、1966 年東京大学文学部西洋史学科卒、1968 年東京大学大学院社会学研究科修士課程修了、1971 年同博士課程単位取得退学

職歴： 1971 年愛知県立大学外国語学部講師、1974 年同助教授、1983 年同教授、1987 年北海道大学スラブ研究センター教授

荒井 信雄 (あらい のぶお)

専門： ロシア極東地域経済、日ロ関係

1. 教員組織

学歴： 1947 年生まれ、1972 年東京大学文学部第 1 類（文化学）卒
職歴： 1987 年北海道地域総合研究所主任研究員、1999 年札幌国際大学人文・社会学部
助教授、2003 年北海道大学スラブ研究センター教授

岩下 明裕（いわした あきひろ）

専門： ロシア外交、東北アジア地域研究

学歴： 1962 年生まれ、1987 年九州大学法学部卒、1989 年北九州大学大学院法学研究科
修士課程修了、1992 年九州大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学、
1995 年法学博士

職歴： 1992 年九州大学法学部助手、1994 年山口県立大学国際文化学部助教授、2001 年
北海道大学スラブ研究センター助教授、2003 年同教授

中央ユーラシア部門

宇山 智彦（うやま ともひこ）

専門： 中央アジア研究、カザフスタン史

学歴： 1967 年生まれ、1991 年東京大学教養学部教養学科卒、1993 年東京大学大学院
総合文化研究科修士課程修了、1996 年同博士課程退学

職歴： 1994 年日本大使館専門調査員（在カザフスタン）、1996 年北海道大学スラブ研
究センター助教授

東欧部門

林 忠行（はやし ただゆき）

専門： 東欧国際関係、チェコスロヴァキア史

学歴： 1950 年生まれ、1975 年東京都立大学法学部卒、1977 年一橋大学大学院法学研
究科修士課程修了、1982 年同博士課程後期単位取得退学

職歴： 1982 年一橋大学法学部助手、1985 年広島大学法学部助教授、1991 年同教授、
1994 年北海道大学スラブ研究センター教授

家田 修（いえだ おさむ）

専門： 東欧経済史、ハンガリー近・現代史

学歴： 1953 年生まれ、1977 年東京大学経済学部経済学科卒、1985 年東京大学大学院
経済研究科博士課程単位取得退学、1987 年東京大学経済学博士号取得

職歴： 1986 年広島大学経済学部助手、1990 年北海道大学スラブ研究センター助教授、
1995 年同教授

地域比較部門

前田 弘毅（まえだ ひろたけ）

専門： コーカサス（カフカス）研究、イラン・グルジア史

学歴： 1971 年生まれ、1995 年東京大学文学部東洋史学科卒、1998 年東京大学大学院
人文社会系研究科修士課程修了、2003 年同博士課程単位取得退学

職歴： 2004 年北海道大学スラブ研究センター講師

藤森 信吉（ふじもり しんきち）

専門： 現代ウクライナ研究、ウクライナ・ロシア関係

1. 教員組織

学歴： 1968 年生まれ、1991 年慶應義塾大学経済学部卒、1994 年慶應義塾大学法学研究科修士課程修了、2002 年同博士課程単位取得退学

職歴： 1994 年日本大使館専門調査員（在ウクライナ）、2005 年北海道大学スラブ研究センター助手

【情報資料部】

兔内勇津流（とない ゆづる）

専門： ロシア中世史、図書館情報学

学歴： 1963 年生まれ、1986 年学習院大学文学部史学科卒、1988 年学習院大学人文科学研究科博士前期課程修了

職歴： 1988 年国立国会図書館司書、1994 年同副主査、1995 年北海道大学スラブ研究センター講師、2005 年同助教授

大須賀みか（おおすが みか）

学歴： 1960 年生まれ、1985 年北海道大学文学部文学科卒

職歴： 1985 年日ソ貿易、1988 年野原公認会計士事務所、1990 年北海道大学スラブ研究センター助手

山下 祥子（やました さちこ）

学歴： 1968 年生まれ、1992 年東京大学教養学部教養学科卒、1999 年早稲田大学大学院社会科学研究科修士課程修了

職歴： 1992 年長銀システム開発、1998 年北海道大学スラブ研究センター助手

④ 客員教授

2001 年度までは、客員教授は公私立の大学・研究機関等に所属する者（客員教員Ⅰ種）定員 3 名とされていたが、2002 年度の部門改組に伴い、国立の大学・研究機関等に所属する者（客員教員Ⅱ種）定員 3 名が追加された。部門改組時点において、客員教員Ⅰ種はロシア部門に 1 名、中央ユーラシア部門に 2 名配置され、客員教員Ⅱ種は中央ユーラシア部門に 3 名配置された。法人化により、このような区別の意味が薄れたことから、平成 18 年度からより柔軟な運用を予定している。客員教授の選考は、原則として、公募によっている。

2000 年度 岩下 明裕（山口県立大学国際文化学部）

田畑 理一（大阪市立大学経済学部）

豊川 浩一（明治大学文学部）

2001 年度 仙石 学（西南学院大学法学部）

下斗米伸夫（法政大学法学部）

横手 慎二（慶應義塾大学法学部）

2002 年度 横手 慎二（慶應義塾大学法学部）

西山 克典（静岡県立大学国際関係学部）

1. 教員組織

根村 亮 (新潟工科大学物質生物システム工学科)
北川 誠一 (東北大学大学院国際文化研究科)
中井 和夫 (東京大学大学院総合文化研究科)
小松 久男 (東京大学大学院人文社会系研究科)

2003 年度 諫早 勇一 (同志社大学言語文化教育センター)
下斗米伸夫 (法政大学法学部)
西山 克典 (静岡県立大学国際関係学部)
北川 誠一 (東北大学大学院国際文化研究科)
中井 和夫 (東京大学大学院総合文化研究科)
小松 久男 (東京大学大学院人文社会系研究科)

2004 年度 斎藤 元秀 (杏林大学大学院国際協力研究科)
長興 進 (早稲田大学政治経済学部)
諫早 勇一 (同志社大学言語文化教育センター)
佐々木史郎 (国立民族学博物館研究戦略センター)
高橋 清治 (東京外国語大学外国語学部)
帯谷 知可 (国立民族学博物館地域研究企画交流センター)

2005 年度 斎藤 元秀 (杏林大学大学院国際協力研究科)
志摩 園子 (昭和女子大学人間社会学部)
仙石 学 (西南学院大学法学部)
佐々木史郎 (国立民族学博物館研究戦略センター)
高橋 清治 (東京外国語大学外国語学部)
帯谷 知可 (国立民族学博物館地域研究企画交流センター)

⑤ 協議員

センターには、組織、教員の人事、予算などの重要事項を審議する協議員会が置かれ、教授会の役割を果たしている。協議員会は、センター専任の教授、助教授全員のほか、北海道大学の専任の教授、助教授数名が加わる構成となっている。下表には、センター以外の協議員会の構成員を示した。2000 年度までは、文学研究科、教育学研究科、法学研究科、経済学研究科の 4 研究科の教員各 1 名を委嘱していたが、2001 年度からは国際広報メディア研究科の教員にも委嘱するようになった。協議員会は、不定期の開催であるが、2002 年度に 6 回、2003 年度に 5 回、2004 年度に 6 回、2005 年度に 13 回（予定）開催された。

協議員（1996 年～）

1996（平成 8 年）栗生澤猛夫（文学部）、所伸一（教育学部）、田口晃（法学部）、吉野悦雄（経済学部）
1997（平成 9 年）栗生澤猛夫（文学部）、所伸一（教育学部）、厚谷襄兒（法学部）、吉野悦雄（経済学部）

1. 教員組織

- 1998（平成10年） 栗生澤猛夫（文学部）、所伸一（教育学部）、田口晃（法学部）、吉野悦雄（経済学部）
- 1999（平成11年） 栗生澤猛夫（文学部）、所伸一（教育学部）、田口晃（法学部）、吉野悦雄（経済学部）
- 2000（平成12年） 栗生澤猛夫（文学研究科）、所伸一（教育学研究科）、中村研一（法学研究科）、吉野悦雄（経済学研究科）
- 2001（平成13年） 栗生澤猛夫（文学研究科）、所伸一（教育学研究科）、中村研一（法学研究科）、吉野悦雄（経済学研究科）、橋本聡（国際広報メディア研究科）
- 2002（平成14年） 栗生澤猛夫（文学研究科）、所伸一（教育学研究科）、田口晃（法学研究科）、吉野悦雄（経済学研究科）、橋本聡（国際広報メディア研究科）
- 2003（平成15年） 栗生澤猛夫（文学研究科）、所伸一（教育学研究科）、田口晃（法学研究科）、吉野悦雄（経済学研究科）、橋本聡（国際広報メディア研究科）
- 2004（平成16年） 栗生澤猛夫（文学研究科）、所伸一（教育学研究科）、田口晃（法学研究科）、吉野悦雄（経済学研究科）、橋本聡（国際広報メディア研究科）
- 2005（平成17年） 栗生澤猛夫（文学研究科）、所伸一（教育学研究科）、中村研一（公共政策学連携研究部）、吉野悦雄（経済学研究科）、橋本聡（国際広報メディア研究科）

⑥ 運営委員

センターには、センターの共同利用に関する事項などを審議する運営委員会が置かれている。運営委員会は、年2回、夏と冬の国際シンポジウムの時期に合わせて開かれるのが慣例となっている。運営委員会には、センターの教授から若干名、センター外の北海道大学の教授から若干名、学外の学識経験者から若干名が加わっている。下表に1996年度以降のその構成員を示した。センターの専任教員については、1997年度までは教授全員が運営委員となっていたが、1998年度からはセンター長のほか、5人程度を選ぶようになった。センター外の北海道大学教員については、協議員のなかから2名をローテーションで委嘱している。学外の学識経験者については、学問分野や勤務地域のバランスなどを考慮して委嘱している。

1. 教員組織

運営委員（1996年～）

	センターの専任教員	センター外の 北海道大学教員	学外の学識経験者
1996 平成8年	家田修、井上紘一、 林忠行、原暉之、皆 川修吾、村上隆、望 月哲男、山村理人	栗生澤猛夫（文学 部）、田口晃（法学 部）	川端香男里（中部大学）、木戸蒨（神 戸学院大学）、木村崇（京都大学）、 西村可明（一橋大学）、和田春樹（東 京大学）
1997 平成9年	家田修、井上紘一、 田畑伸一郎、林忠行、 原暉之、皆川修吾、 村上隆、望月哲男、 山村理人	厚谷襄兒（法学部）、 栗生澤猛夫（文学 部）	川端香男里（中部大学）、木戸蒨（神 戸学院大学）、木村崇（京都大学）、 西村可明（一橋大学）、和田春樹（東 京大学）
1998 平成10年	井上紘一、林忠行、 原暉之、皆川修吾、 村上隆、山村理人	田口晃（法学部）、 吉野悦雄（経済学 部）	宇多文雄（上智大学）、木村崇（京 都大学）、西村可明（一橋大学）、 南塚信吾（千葉大学）、和田春樹（東 京大学）
1999 平成11年	井上紘一、林忠行、 原暉之、皆川修吾、 村上隆、山村理人	田口晃（法学部）、 吉野悦雄（経済学 部）	宇多文雄（上智大学）、木村崇（京 都大学）、西村可明（一橋大学）、 南塚信吾（千葉大学）、和田春樹（東 京大学）
2000 平成12年	家田修、井上紘一、 田畑伸一郎、林忠行、 原暉之、村上隆	栗生澤猛夫（文学 研究科）、吉野悦雄 （経済学研究科）	宇多文雄（上智大学）、木村崇（京 都大学）、西村可明（一橋大学）、 南塚信吾（千葉大学）、和田春樹（東 京大学）
2001 平成13年	家田修、井上紘一、 田畑伸一郎、林忠行、 原暉之、村上隆	栗生澤猛夫（文学 研究科）、吉野悦雄 （経済学研究科）	宇多文雄（上智大学）、木村崇（京 都大学）、西村可明（一橋大学）、 南塚信吾（千葉大学）、和田春樹（東 京大学）
2002 平成14年	家田修、田畑伸一郎、 林忠行、原暉之、村 上隆、山村理人	田口晃（法学研究 科）、所伸一（教育 学研究科）	宇多文雄（上智大学）、木村崇（京 都大学）、高田和夫（九州大学）、 西村可明（一橋大学）、南塚信吾（千 葉大学）
2003 平成15年	家田修、田畑伸一郎、 林忠行、原暉之、村 上隆、山村理人	田口晃（法学研究 科）、所伸一（教育 学研究科）	宇多文雄（上智大学）、木村崇（京 都大学）、高田和夫（九州大学）、 西村可明（一橋大学）、南塚信吾（千 葉大学）
2004 平成16年	家田修、田畑伸一郎、 林忠行、原暉之、松 里公孝、山村理人	栗生澤猛夫（文学 研究科）、吉野悦雄 （経済学研究科）	宇多文雄（上智大学）、木村崇（京 都大学）、高田和夫（九州大学）、 西村可明（一橋大学）、南塚信吾（法 政大学）
2005 平成17年	家田修、田畑伸一郎、 林忠行、原暉之、松 里公孝、山村理人	栗生澤猛夫（文学 研究科）、吉野悦雄 （経済学研究科）	宇多文雄（上智大学）、木村崇（京 都大学）、高田和夫（九州大学）、 西村可明（一橋大学）、南塚信吾（法 政大学）